

平成 25 年度 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会事業報告(概要)

今年度から公益財団に移行し、各種事業を 1 公益事業、2 収益事業、3 法人事業に区分し実施したところであり、その概要について次のとおり報告します。

1 障害者の自立及び社会参加に関する事業（公 1）

公益事業として、(1) 情報提供・普及啓発事業、(2) 講演・研修会、生活訓練事業、(3) スポーツ振興事業、(4) 身体障害者の自立及び社会参加事業を実施した。

(1) 情報提供・普及啓発事業

障害者の自立した地域生活の支援、社会参加の促進に役立つ情報を提供するとともに、障害者の正しい理解を広げ、障害者の積極的な参加を進める取り組みを行った。

ア ホームページ、広報誌による情報提供

- ・ 当法人(県身連)及び神奈川県社会参加推進センター(推進センター)のホームページの運営

県身連及び推進センターの行事、障害福祉制度の動向等に関する情報を発信・提供した。

- ・ 「身障かながわ」の発行（4回）

県身連や地域団体の動向、国・県の障害福祉に関する情報を掲載した。

年 4 回、墨字のほか点字、録音テープを作成、配布した。

- ・ 「推進センターたより」の発行（2回）

推進センターの行事、参加者募集、事業結果などの情報を「身障かながわ」と連携しながら提供した。

イ 障害者の理解を深める三障害（身体・知的・精神障害）啓発パンフレットの発行

- ・ 「障害ってなんだろう？～心のバリアフリーを推進しよう～」など、障害についての知識・理解を深め、障害者と接する場合のポイント・留意点等を記載したパンフレットをキャンペーン会場、文化芸術祭、福祉大会等で配布した。

ウ 障害者の理解を深めるキャンペーンの実施

- ・ 関係団体が連携協力し、障害に対する正しい理解と認識を深めるため「平塚福祉フェスティバル」に参加し、「差別解消法」に関する啓発活動、関係団体や啓発パンフレットの配布、活動紹介パネルの展示を行い、障害者差別についてクイズ形式のアンケートを実施した。

平成 25 年 10 月、平塚総合公園

エ 障害者の文化・芸術を広める事業

障害者の文化活動の促進を図るため、障害者団体・グループによる音楽等の発表及び書道・写真等を展示する「文化・芸術祭」を開催した。

- ・ 作品展示：書道、写真、工芸品など様々な分野の作品を発表する機会を提供した。
- ・ 舞台発表：音楽、ダンスなど、日頃の練習の成果を発表した。
平成 25 年 12 月（2 日間）、海老名市文化会館(発表団体 9、展示作品 180)

(2) 講演・研修会、生活訓練事業

障害者の自立した地域生活の支援、社会参加の促進に資する講演会・研修会、訓練会を開催した。

ア 講演・研修会の開催

- ・ 様々な障害の状況を理解するため、3 障害団体から障害の特性、生活上の課題等を発表し、意見・情報交換を行った。
平成 25 年 9 月、県社会福祉会館県身連集會室
- ・ 障害者差別解消法施行に当たり、差別について意見交換し、法律の理解を深めるため、「障害者差別について考えよう」をテーマに基調講演と 8 名の障害関係者によるシンポジウムを実施した。
平成 26 年 2 月、平塚市中央公民館

イ 訓練会の実施

障害当事者団体と連携して、訓練会を実施した。

- ・ 音声機能障害者発声訓練会
喉頭摘出手術等により発生機能を失った者に、食道等を使って発声する訓練会を神奈川銀鈴会の指導の下、年間を通じ横浜と小田原で開催した。
- ・ オストメイト社会適応訓練会
ストマ用具の装着者装具の使用方法、社会生活上必要な基本事項について、神奈川県オストミー協会と医療関係者の協力により、年間を通じ医師による講習会、看護師による相談会を実施した。
- ・ 肢体障害等の歩行訓練会の開催
義足の装着者等を対象に富士山 5 合目から 6 合目までの行程を歩行訓練として実施した。平成 25 年 7 月

(3) スポーツ振興事業

障害者の余暇の充実、健康の維持増進、競技性の追求など様々な効用をもつスポーツに親しむとともに、障害者スポーツの普及を図る事業を実施した。

ア 神奈川県障害者スポーツ大会等の開催

全国障害者スポーツ大会の予選会として、横浜・川崎市を除く県及び相模原市の選手による競技大会を開催した。また、知的障害者を対象とした団体競技による「神奈川県ゆうあいピック大会」等の事務を神奈川県障害者スポーツ振興協議会から受

託し、円滑に執行した。

- ・ 県障害者スポーツ大会（個人競技）
ボウリング競技会 4月、湘南とうきゅうボウル
アーチェリー競技会 4月、県総合リハ・センター
フライングディスク競技会 4月、海老名運動公園陸上競技場
陸上競技会(身体障害) 5月、県立体育センター
陸上競技会(知的障害) 5月、県立体育センター
卓球・サウンドテーブルテニス競技会 6月、寒川総合体育館
水泳競技会 7月、さがみはらグリーンプール
- ・ ゆうあいピック大会（団体競技）
障害者スポーツ振興協議会が実施するバレーボール、サッカー、バスケットボール、ソフトボールの各競技会の開催が円滑となるよう支援した。

イ 全国障害者スポーツ大会選手団の派遣

障害者スポーツの全国大会(第13回全国障害者スポーツ大会「東京大会」)へ神奈川県及び相模原市の選手を選考し、派遣した。平成25年10月(6日間)

- ・ 県選手団：選手・役員・コーチ64人、成績：金7、銀7、銅7。知的障害バスケット・優勝
- ・ 市選手団：同 44人、成績：金5、銀4、銅8

ウ 障害者スポーツ指導者等の養成

- ・ 障害者スポーツの指導者、ボランティアを養成するため講習会を開催した。
初級障害者スポーツ指導者養成講習会
平成26年2月、3月(4日間)、県立体育センター、修了者39人

エ 障害者スポーツ教室の開催

- ・ 体育協会加盟の団体、レクリエーション協会加盟の団体の協力を得て、一般者と一緒に参加できる方策検討を兼ね、スポーツ教室を開催した。
平成25年12月、秦野市総合体育館、種目：①ラージボール卓球、②スポーツチャンバラ、③ラダーゲッター、④3B体操

(4) 身体障害者の自立及び社会参加に関する事業

ア 3障害（肢体・視覚・聴覚障害）別の福祉関連活動の支援

- ・ 障害に応じた個別の事業は各障害別協会（部会）で実施しており、各事業等の経費の一部を助成し、支援した。
主な事業：教養講座、研修会・学習会、講演会、福祉大会、文化・スポーツ・レクリエーション大会、社会見学、野外活動など

イ 身体障害者福祉大会の開催

- ・ 誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現に向け、新たな行動を決意するとともに

に障害者のニーズに対応した福祉制度・計画の推進を期する大会を神奈川県との共催により開催した。

平成 25 年 11 月、茅ヶ崎市民文化会館、内容：県知事表彰、県身連会長表彰などの式典、体験発表等

ウ スポーツ・レクリエーション活動の実施

- ・ ボウリング大会：障害別のルールにより実施する。全国的な大会へつながる選抜を兼ねた競技会として実施した。

平成 25 年 4 月、湘南とうきゅうボウル

- ・ 富士登山：5 合目から 7 合目など各自の目標地点までの登山に挑戦する。ボランティア・支援者等の配置など安全に配慮して行った。

平成 25 年 7 月、富士吉田口

エ 身体障害者相談員活動の支援

- ・ 各市町村から委嘱された当事者相談員の資質向上のため、研修会に派遣した。

平成 25 年 8 月、千葉市

オ JR ジパング倶楽部取扱事務

- ・ 身体障害者手帳を持つ障害者に対して、JR 特急券等の割引を受けられる会員となる事務処理を行った。

2 物品販売等の収益事業(収 1)

神奈川県総合リハビリテーションセンターに売店を設置し、身体障害者の就労、当法人の財源確保を図るため、効率的な運営に努めた。

3 法人事業

法人の円滑な運営のため、理事会、評議員会、監事会等を開催した。